

令和6年度予算	
一般会計	
1,223 億 1,900 万円	
一般会計予算を10,000 円に例えると	
区議会の運営経費に	62 円
防災対策、地域振興、戸籍、住民基本台帳、選挙など総務費	2,177 円
福祉の充実のために	4,517 円
健康を守るために	368 円
きれいなまち、良好な環境を推進するために	504 円
中小企業対策など商工業の振興に	226 円
住宅、道路、公園の整備等まちづくりの推進に	891 円
教育の充実、文化、スポーツの振興に	1,154 円
特別区債の償還に	58 円
財政調整基金積立金等	10 円
予備費	33 円
合計	10,000 円

かがやく渋谷

渋谷の責任ある政党として

安心して生活できるまち、渋谷実現のために！
自民党議員団は全力で取り組みます

令和6年度当初予算が可決成立しました。

令和6年度一般会計予算は、1223億1900万円で前年度比8.6%増という過去最大の予算規模です。

本年度の主な施策として、防災面では、能登半島地震の検証を踏まえ、防災マニュアルの見直し、円滑な避難所運営のためのDX導入、備蓄品を拡充し、地域防災力向上を進めます。

福祉・保健分野では、神宮前三丁目に障害者施設を開設するほか、男性へのHPVワクチン接種の全額補助や、がんの治療に伴う医療用ウィッグ・胸部補整具等の購入・レンタル助成を開始します。

まちづくりでは、大山街道の整備事業を進め、宮益坂の歩道を1.5倍に拡幅し、歩行者が気持ち良く過ごしてもらえよう、段差を解消し回遊性のある道路空間を創出します。

教育では、総合的な学習の時間「シブヤ未来科」を拡充して、子どもたちの主体的な学び、思考力や表現力の向上を図ります。また、

区立小中学校へ通う児童・生徒の給食費を全額補助すると共に、給食費単価を増額して質の高い食事を提供します。

物価高騰対策では、デジタル地域通貨「ハチペイ」事業を本年度も力強く推進し、多彩なキャンペーンの実施により、家計の負担軽減と区内事業者の支援を行います。また、まちのコイン「ハチポ」を活用し、地域コミュニティの活性化も図ります。

渋谷区の財政は物価高騰やふるさと納税による財源流出拡大など、先行きが不透明な状況です。持続可能な行財政運営のために中長期的視点を持ちつつ、皆様の生活を守り安全、安心に暮らせるよう、本年度も私たち自由民主党議員団は最大会派としての責務を果たして参ります。

※DX導入……デジタル技術を活用して、業務の効率化や利便性向上を図ること。



「千駄ヶ谷区民複合施設」として生まれ変わりました！



千駄ヶ谷・原宿の新たなシンボル
複合施設として4月1日
リニューアルオープン

千駄ヶ谷区民施設が4月1日、「SCC千駄ヶ谷コミュニティセンター」と「原宿こども園」が併設された複合施設としてリニューアルオープンします。

長年愛されてきた千駄ヶ谷区民会館は竣工後51年を迎え、施設の老朽化が進んでいることから、令和3年9月末で施設を閉館し、建替工事が進められてきました。新施設は隈研吾氏デザインの、木材をふんだんに使った円形の特色ある建物になっており、多世代がつながる空間として、あらゆる世代が集い親睦や交流を深められる施設を目指します。

コミュニティ施設にはサークルホールやカフェも併設され、地域活動や文化活動、学習活動を更に促進します。また「原宿こども園」は保育所型認定こども園として1歳から5歳までの保育室の他、一時保育室や病後児保育室を併設し、病気回復期の子どもたちの保護者が安心して就労できる環境を整えました。定員は53人、病後児保育4人、一時保育7人で、区民の保育需要に応えます。